

④再処理施設（放射性気体廃棄物）

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設			クリプトン [⁸⁵ Kr] (Bq)	ヨウ素 [¹²⁹ I] (Bq)
	再処理施設合計		N.D.	N.D.
	年間放出 管理目標値		8.9E+16	1.7E+09
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)		放射性 アルゴン (Bq)	クリプトン [⁸⁵ Kr] (Bq)	ヨウ素 [¹²⁹ I] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	1.6E+11	N.D.
	年間放出 管理目標値	-	3.3E+17	1.1E+10

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設		全粒子状物質		
		[全α] (Bq)		[全βγ] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.		*15 2.4E+04
	年間放出 管理目標値	*14 2.2E-08		*14 1.1E-04
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)		その他核種 (α線を放出する核種) (Bq)	左記内訳(核種別) プルトニウム [Pu(α)] (Bq)	その他核種 (α線を放出しない核種) (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	N.D.	N.D.
	年間放出 管理目標値	3.3E+08	-	9.4E+10

注：放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に排気量を乗じて求めている。
 なお、放出放射能濃度が検出限界濃度未満の場合はN.D.と表示した。
 検出限界濃度は次のとおり。(Bq/cm³)

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設
¹⁴C : 4.0E-05 以下
¹²⁹I : 3.7E-08 以下
 全粒子状物質(全α) : 1.5E-10 以下
⁸⁵Kr : 2.4E-03 以下
¹³¹I : 3.7E-08 以下

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)
 放射性アルゴン : 1E-04 以下
⁸⁵Kr : 2E-02 以下
¹²⁹I : 4E-08 以下
¹⁴C : 4E-05 以下
 その他核種(α線を放出する核種) : 4E-10 以下
 (全αに対する値で代表した。)
 Pu(α) : 4E-10 以下
 その他核種(α線を放出しない核種) : 4E-09 以下
 (全β(γ)に対する値で代表した。)
¹⁰⁶Ru-¹⁰⁶Rh : 4E-09 以下
 (粒子状¹⁰⁶Ru及び揮発性¹⁰⁶Ruそれぞれに対する値を示した)
¹³⁷Cs-^{137m}Ba : 4E-09 以下
⁹⁰Sr-⁹⁰Y : 4E-10 以下

*15：福島第一原子力発電所の事故の放射性物質放出の影響による。

④再処理施設（放射性気体廃棄物）（続き）

ヨウ素 [^{131}I] (Bq)	トリチウム [^3H] (Bq)	炭素 [^{14}C] (Bq)
N. D.	5. 0E+11	N. D.
1. 6E+10	5. 6E+14	5. 1E+12
ヨウ素 [^{131}I] (Bq)	トリチウム [^3H] (Bq)	炭素 [^{14}C] (Bq)
6. 6E+05	1. 6E+11	4. 2E+10
1. 7E+10	1. 9E+15	5. 2E+13

左記内訳（核種別）		
ストロンチウム -イットリウム [^{90}Sr - ^{90}Y] (Bq)	ルテニウム -ロジウム [^{106}Ru - ^{106}Rh] (Bq)	セシウム -バリウム [^{137}Cs - $^{137\text{m}}\text{Ba}$] (Bq)
N. D.	N. D.	N. D.
-		